

ふちゅうの教育

主な内容	2・3面…イベントのお知らせ 4・5面…図書館10周年・夏のイベント報告 6・7面…シリーズ記事 8面…特別支援教室の取組
発行元	府中市教育委員会事務局 教育部教育総務課 TEL 042-335-4424 FAX 042-334-0946
ホームページ	http://www.city.fuchu.tokyo.jp/kyoiku/index.html

土曜授業を開始します

平成29年3月に改訂された小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領では、小学校における中学年への外国語活動及び高学年への外国語科の導入による外国語教育の充実や、小中学校における知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現等が求められています。

府中市では、さらなる学力向上への取組及びこれらの対応に必要な授業時数を確保するため、市立小中学校で「土曜授業」を実施します。

【問合せ】指導室（335・4063）

実施回数

実施回数は、原則として年9回とし、1回につき3単位時間以上の授業を実施します。
ただし、実施による振替休業日は設けません。

開始年度

市立小学校 平成30年度
市立中学校 平成31年度



実施日の決定

実施日は、原則として第一土曜日又は第三土曜日としますが、各学校において、東京都の事業や地域の行事等を考慮した上で決定します。

授業内容等

授業内容は、確かな学力の定着を図る授業とするほか、地域の特性をいかした連携・協働を推進するため、保護者や地域住民等をゲストティーチャーとして招いた授業やふるさと学習など、各学校において特色のある授業を積極的に行います。

なお、授業は、原則として公開授業とします。

※今後、土曜授業の実施に関する情報を適宜発信いたします。

教育委員会ホームページをリニューアルしました！

9月29日（金）より、記事のカテゴリを再編したり、アクセス数の多い記事についてトップページにアイコンを作るなど、皆さんの求める情報を分かりやすく配置しました。

もっと伝わる、利用しやすいホームページを目指してまいりますので、教育委員会ホームページを、ぜひご活用ください。

【問合せ】教育総務課（335・4424）

▽旧トップページ



▽新トップページ

NEW



※構成・レイアウト等の変更に伴い、一部、アドレスが変更となっているページがあります。各ページを「お気に入り」「ブックマーク」等に登録されている方は、お手順をおかけしますが変更をお願いいたします。

イベントのお知らせ

全館でポッチャ実施！

第21回みんなのスポーツday
地域体育館「体育の日」無料開放

市民の皆さんが、健康とスポーツへの理解と関心を深め、スポーツ活動を始めるときかけづくりとなるように、「みんなのスポーツday」を開催します。

【日 程】10月9日(月・祝)
【時 間】午前10時～午後4時
【費 用】無料
【申込み】当日直接会場へ
※体育館履きを持参してください。
【問合せ】スポーツ振興課(335・4499)



会 場	内 容
白糸台体育館	ニュースポーツのつどい(白糸台体育館運営協議会)、ポッチャ、ラリーテニス、輪投げ、トランポリン、玉入れ、卓球、カローリング、元気度チェック、膝痛さよなら姿勢講座、フットサルミニゲーム(府中アスレティックF C)ほか
押立体育館	ポッチャ、カローリング、トランポリン、スピードガン、輪投げ、ラリーテニス、ディスクゲッター、元気度チェック、和太鼓演奏(都立府中東高校和太鼓部)、スポーツ玉入れ体験(A J T A東京協会)ほか
栄町体育館	ポッチャ、ラリーテニス、トランポリン、卓球、インディアカ、ソフトバレーボール、バグゴ、硬式テニス、輪投げ、四半的弓道、元気度チェック、新体操演技・体験(東京女子体育大学新体操競技部)ほか
日吉体育館	ポッチャ、みんなで体操、ラリーテニス、バドミントン、トランポリン、ラダーゲッター、ダーツ、カップスタック、グラウンドゴルフ(屋外)、日吉ギネス大会、風船遊び(風船遊び研究会)、わくわく広場(明星大学初等教育研究会どろんこの会)、チアリーディング演技披露(東京外国語大学チアリーディング部)ほか
本宿体育館	地域レクリエーションのつどい(本宿体育館運営協議会)、ポッチャ、トランポリン、ラリーテニス、卓球、ディスクゲッター、ストラックアウト、スポーツスタッキング、フリースロー、グラウンドゴルフ(屋外)、子ども遊び(明星大学初等教育研究会どろんこの会)、チアリーディング演技・体験(東京女子体育大学チアリーディング部)ほか
四谷体育館	ポッチャ、ラリーテニス、トランポリン、卓球、四半的弓道、バグゴ、カーレット、ストラックアウト(屋外)、体力測定、フリースペース、元気度チェック、ダンス実演・体験(都立府中西高校ダンス部)ほか

※トランポリン・ラリーテニスは、全館で実施します。 ※種目により、実施時間が異なります。

美術館企画展 フィンランド独立100周年記念
フィンランド・デザイン展

「森と湖の国」、フィンランド。豊かな自然に囲まれる反面、夏は白夜、冬は極寒という厳しい環境でもあります。そんな中で生まれたのが、自然と人との調和を基本に、日々の生活で長く愛されるデザインの数々です。
アルヴァ・アアルト、カイ・フランクらフィンランドを代表するデザイナー、マリメッコやイッタラなどデザイナーを支える企業にも焦点をあてながら、世界中で愛されるフィンランド・デザインの魅力を紹介します。



△エーリク・ブルーノ ポスター原画
《サイマーワモンアザラシ》1974年
作家蔵

【日 程】9月9日(土)から10月22日(日)まで
【時 間】午前10時から午後5時(入場は午後4時半)まで
【休館日】月曜日(9月18日・10月9日を除く)・9月19日(火)・10月10日(火)
【観覧料】一般 900 円(720 円)、高校生・大学生 450 円(360 円)、
小学生、中学生 200 円(160 円)
※()内は20名以上の団体料金／未就学児、障害者手帳等をお持ちの方は無料／
市内の小中学生は「学びのパスポート」をご利用ください。
【問合せ】美術館(336・3371)

■美術館企画展 正宗得三郎

正宗得三郎は、絵は情熱で描くべきことを青木繁から、色彩は魔法のように用いるべきことをアンリ・マチスから、そして真実の世界を書くべきことを最後の文人富岡鉄斎から学びました。

自らの絵画を「色彩の音楽」として謳いあげ、また独学の無名画家、長谷川利行の東洋的和魂の画風をいち早く評価するなど、西洋絵画と拮抗しうる日本近代絵画の特質を訴え、南画と油彩画との融和によって、日本的で柔らかな作品を生み出しました。

【日 程】11月3日(金・祝)から12月28日(木)まで

【時 間】午前10時から午後5時(入場は午後4時半)まで

【休館日】月曜日

【観覧料】一般700円(560円)、高校生・大学生350円(280円)、小学生・中学生150円(120円)

※()内は20名以上の団体料金/未就学児、障害者手帳等をお持ちの方は無料/市内の小中学生は「学びのパスポート」をご利用ください。
【問合せ】美術館(336・3371)



△正宗得三郎《白浜の波》1938年頃 府中市美術館蔵

■市民文化の日



10月の第2日曜日は「市民文化の日」です。市内の9つの文化施設等において無料のコンサートや体験、アートマーケットなど様々なイベントを開催します。

文化・芸術の豊かさや安らぎの時間をお楽しみください。申込み等詳細は市内に設置のパンフレット、または9月11日号広報ふちゅうや市のホームページをご覧ください。

【日 程】10月8日(日)

【会 場】府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、ルミエール府中(市民会館・中央図書館)、ふるさと府中歴史館、武蔵府中熊野神社古墳展示館、郷土の森博物館、生涯学習センター、美術館、都立府中の森公園

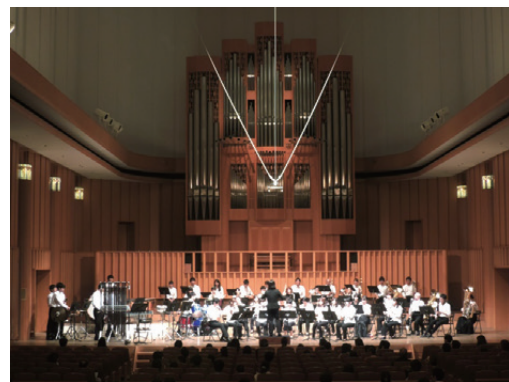
【備 考】9施設合同スタンプラリーにて、3つ以上のスタンプを集めた方にオリジナル缶バッジをプレゼントします。

【費 用】観覧無料(一部参加有料あり)

【問合せ】文化生涯学習課(335・4464)



△武蔵府中熊野神社古墳まつり



△府中の森芸術劇場オープンシアター

■中央図書館「市民文化の日」イベント 子ども安全安心教室&スペシャルおはなし会

入学前は大人と一緒に通った図書館も、成長するにつれ子どもだけで行く機会が増えてきます。宿題の調べもの、おはなし会や科学あそびのようなイベント参加、時には一人で、ゆっくりと読みたい本を探したり。

子どもたちが、「図書館に行きたい!」と思い立ったとき、昔話の主人公のように目的地にちゃんと着いて、そのあとにまた無事に家に帰れるよう、「防犯のコツ」を府中警察署の人に教えてもらいます。

【日 程】10月8日(日)

【時 間】午前10時半~11時半

【場 所】中央図書館3階児童室おはなしのへや
【プログラム】

第一部 昔話おはなし会

第二部 府中警察署の人のお話

【対 象】3歳以上小学生と保護者(当日受付)

【定 員】50名(子ども優先)

【問合せ】中央図書館(362・8647)

府中っ子学びのパスポートをご活用ください!

市内に在住の小中学生が市内の博物館と美術館の企画展・常設展を、年間を通して無料で楽しみながら学習体験できるものです。

新小学1年生に学校を通じて配布し、中学3年生まで有効です。

入館時に受付でご提示ください。

【問合せ】ふるさと文化財課(335・4393)



■中央図書館からのお知らせ



中央図書館は、平成19年に新しく建て替えられたルミエール府中内に移転し、今年で10周年を迎えました。



図書館のあゆみが感じられる「図書館だより」創刊号からの展示を中央図書館で行います。

また、12月には10周年イベントを予定していますので、ぜひご来館ください。

【問合せ】中央図書館(362・8647)

小学生のためのブックトーク よむよむ探検隊



一つのテーマにそって、図書館職員がおすすめしたい本を、6～7冊程度紹介していきます。

図書館にあるたくさんの本の中から、小学生の皆さんにぜひ読んでいただきたい、とっておきの本を紹介します。また、読書が好きな子はもちろん、何を読めばいいのかわからない、ちょっと読書は苦手だな、という子にも楽しんでもらえるよう、いろいろなジャンルの本を工夫して紹介します。

参加者には、当日紹介した本のリストが入った「よむよむ探検隊員手帳」をプレゼントし、参加するごとに毎回手帳にスタンプを押していきます。

今年度も皆さんのお気に入りの1冊が見つかるよう企画していますので、ぜひご参加ください。

【日 程】10月8日(日)

「あったらいいなこんなちから できたらいいなこんなこと」
※市民文化の日イベント

12月16日(土)・2月17日(土)(テーマ未定)

【時 間】いずれも午後3時から3時45分まで

【会 場】中央図書館3階「おはなしのへや」

【対 象】小学4・5・6年生

【申込み】不要。当日直接会場へ。



図書館全館休館のお知らせ

図書館システムの改修作業等のため、府中市立図書館は全館休館します。

休館期間中は、図書館をご利用いただくことができません。なお、図書資料の返却は、各図書館のブックポストをご利用いただけます。ご理解とご協力をお願いいたします。

【休館期間】

11月19日(日)～30日(木)

冬のおたのしみおはなし会

図書館では、3歳～小学生を対象として読み聞かせを行っています。

冬のおはなし会では、絵本やおはなしの語り、手遊びなどを行います。手作りのプログラムの配布もします。ぜひ会場にいらしてください。

【日 程】12月21日(木)

【時 間】午後3時半から4時半まで

【会 場】中央図書館3階

「おはなしのへや」

【対 象】3歳～小学生

【申込み】不要。当日直接会場へ。



△手作りのプログラム(例)



夏休みのイベント報告



ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み 2017 を開催しました

ふるさと府中歴史館で夏休み恒例のムサシカメ丸君が紹介する、夏休みの自由研究の参考や貴重な体験となるイベントを行いました。

『夏休み子ども向けワークショップ“さわってドキ土器！”』では、おにいさん、おねえさんに教わりながら、古銭の拓本や、けやきの葉の押し葉を使って、しおりを作ってもらいました。

また、市内の奈良時代などの遺跡から出土した土器や瓦などを直接持ったり、さわったりして昔の人達がどのような生活をしていたか想像してもらいました。

『最新出土資料展“掘り出された府中の遺跡”』では、昨年に市内で行われた32箇所の発掘調査の様子を、写真パネルや出土した土器などを使ってわかりやすい解説をして、なかなか見ることのできない発掘調査現場のことを紹介しました。

参加した子どもたちは、初めて持つ土器や瓦の重さにびっくりしたり、自分で採った拓本のしおりの完成に喜んだり、市内にある遺跡の多いことに感心するなど、大好評でした。



「地球はどうぶつでいっぱい ～あべ弘士さんと動物の絵を描こう!～」を開催しました



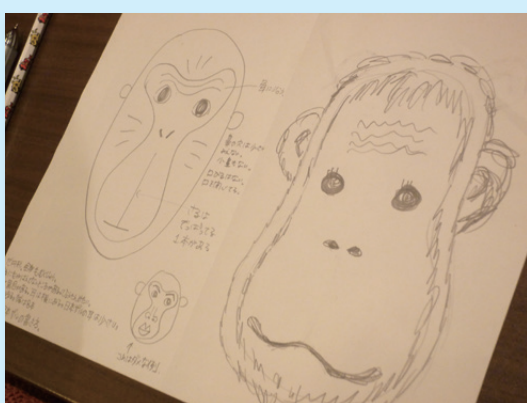
中央図書館がルミエール府中に移転してから今年で10年となり、7月22日には記念講演会を開催しました。

講師は、絵本『あらしのよるに』でも有名な、絵本作家のあべ弘士さんです。

あべさんは、北海道の旭山動物園の飼育係として25年間勤務されたご経験から、動物や動物園のお話を臨場感たっぷりにお話してくださいました。

後半では、あべさんから動物の特徴をとらえた描き方を教えていただき、自分で自由に描いた時との違いを比べたりもしました。上手に描けるコツを伝授してもらおうと、低学年の子どもたちも身を乗り出すようにして、あべさんのお話に聞き入っていました。

夏休み期間には、講演会と同じテーマで中央図書館4階の多目的室で企画展示も行いました。あべさんが運営されるギャラリーの写真や情報誌、旭山動物園の写真などが多数展示され、来場した方からも好評をいただきました。



シリーズ 新しい学校づくり プロジェクト①

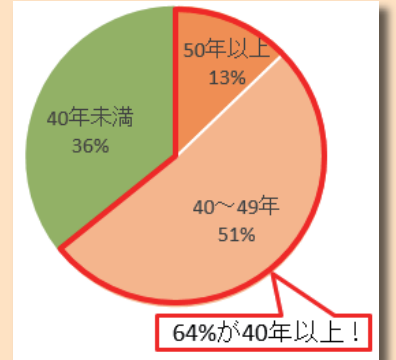
学校施設の老朽化対策を進めていきます！

市には、33の市立小・中学校があり、その建物の多くで老朽化が進行しています。このことから、子供たちがこれからも安心・安全に学校生活を送ることができるよう、計画的に老朽化対策を進めていくことが必要となっています。今後、学校施設の老朽化対策の取組については、「ふちゅうの教育」を通じて、進捗状況をお知らせしていきます。【問合せ】学校施設課（335・4280）

■学校ってどれくらい古いの？

市では、昭和30年代から50年代にかけて、都市化が進み、子供の数が増加したことから、その対応として小・中学校の整備を行ってきました。このため、校舎については、全体の64%が建築後40年を経過しており、老朽化が進行している状況です（右グラフ参照）。

学校施設の老朽化対策を検討するにあたり、平成26年度から28年度にかけて、全33校の校舎・体育館等について老朽化対策調査を実施しました。この結果を受け、市では築年数が古い学校を中心に、計画的に老朽化対策を進めていく必要があると考えています。



小・中学校の校舎の築年数

■いよいよ新しい学校づくりが始まります！

市では、小・中学校の老朽化対策を計画的に進めるため、各校の老朽化対策の優先度や新しい学校づくりの基本的な考え方をまとめた、学校施設改築・長寿命化改修計画（以下「計画」といいます。）の策定を平成30年度末までに予定しています。

また、計画策定後、速やかに各小・中学校の老朽化対策へと移行するため、老朽化対策調査の結果や築年数を踏まえ、最初に改築（建替え）する学校として八小と一中の2校を選定しました。この2校については、計画策定後に改築に向けた設計業務に着手する予定をしています。また、その他の学校の老朽化対策については、計画の中で示していく予定です。

■学校施設老朽化対策推進協議会を設置しました！

学校施設は、児童・生徒の教育環境の充実に加え、生涯学習や文化・スポーツなどの活動の場であることや災害時の避難所として、地域の方々にとって最も身近な公共施設であることから、地域が学校施設に求める様々な機能や役割を捉えた学校づくりを行うことが重要です。このため、7月に学校関係者や地域住民、学識経験者など、14名で構成した学校施設老朽化対策推進協議会を設置し、平成30年9月までの1年2か月で、「教育環境の充実」や「地域の中の学校」の視点を踏まえた、新しい学校づくりについて審議をしていきます。協議会から頂いた幅広い意見については、計画へ反映していきます。



△協議会で諮問書を渡す浅沼教育長（右）と受取る田中会長（左）

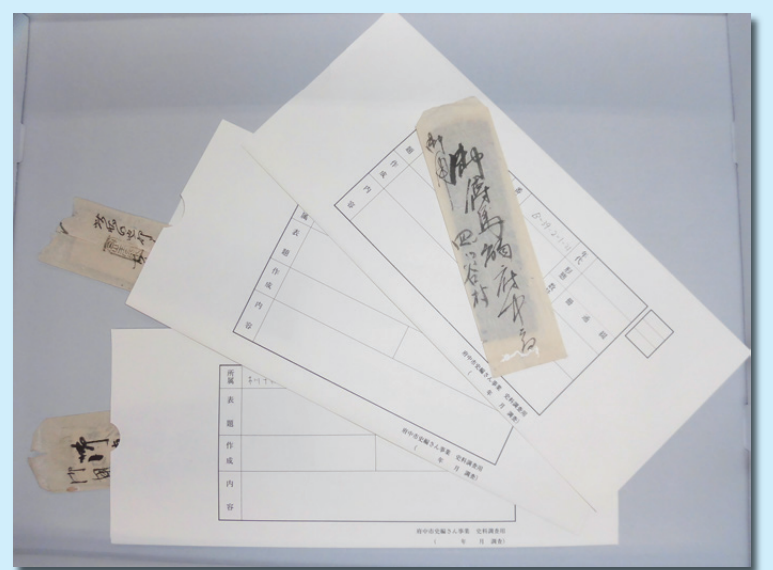
また、調査の過程で、古文書に適した保存を施しています。古文書は和紙に筆で墨の文字を書いたものが多く、私たちが普段使っている封筒などに入れると、傷んでしまうことがあります。和紙の性質にあわせた中性紙の封筒や箱に入れることで、永く古文書を保管することができます。

このように古文書の内容を記録して、古文書に適した保存を施すことで、家や地域の大切な財産である古文書を後世に残すことができます。

府中市史編さんでは、江戸時代を担当する近世部会を中心に市内の古文書調査を行っています。四谷地域をはじめとして個人のお宅や寺社の調査で古文書が見つかり、市内の大学の協力をいただいて整理しています。

これまでに調査した古文書のなかから、府中市の歴史をまとめる手がかりが明らかになってきています。例えば、村びとの宗旨の調査記録「宗門人別帳」からは当時の村の人口や家族構成を知ることができます。また、多摩川の用水路の普請（工事）の様子や、新田開発した土地をめぐるやり取りなど、いきいきとした生活の様子を古文書から読み取ることができます。

古文書を調査してわかったことをまとめて、府中市史の通史編と史料編を刊行する予定です。また、昨年度は刊行に先行して歴史研究の専門家が古文書を解説し、市民の皆さんに古文書調査の成果を報告する講演会を開催しました。講演会は今後も開催する予定です。



【問合せ】ふるさと文化財課市史編さん担当（335・4376）

シリーズ 府中市のコミュニティ・スクール①

教育委員会では、全市立小中学校でコミュニティ・スクール（府中版・文部科学省版）を実施しています。

各学校でのコミュニティ・スクール（以下「CS」といいます）の特色ある取組を順次ご紹介いたします。

【問合せ】指導室（335・4062）

日新小学校

日新小学校では、地域全体で次代を担う子供たちを育成するために地域と学校が連携・協働し、教育力の向上を目指しています。実践のねらいと活動を紹介します。

■教育活動全体と保護者や地域との連携を通し、集団の一員としての自覚と連帯の意識を高める活動

保護者参加の運動会
餅つき大会
美化活動
肝試し大会
ラジオ体操 など



△地域の方の協力で、自分たちが苗を植え育てたお米で、お餅つきをして食べました。

■人とのふれあいを重視した集団活動や体験的な学習・福祉体験などを通して、自ら課題意識をもって取り組み、考え、判断し、問題を解決する能力や態度を育成する活動

多摩川探検、水田学習、菊作り、相撲学習、
琴演奏体験 など

■地域に関わる奉仕活動を通し、貢献する喜びを味あわせたり、郷土に伝わる伝統行事や文化に触れさせたりすることで郷土の文化を学び愛着を育てる活動

高速道路南面桜並木清掃、どんど焼き・伝承祭、
日本の伝統・文化体験 など

昨年、日新小学校は「地域学校協働活動」推進に係る文部大臣賞を受賞しました。これからも、地域との連携を生かし、教育活動を充実させます。

府中第五小学校

府中第五小学校では、平成26年度から文部科学省が推進するCSとして活動しています。

CS委員会としては、

年間3回の委員会、
地域総合防災訓練、
昔遊びの会、
地域安全マップづくり



を学校、PTAとともに運営しています。△昔遊びの会



△のぼり旗

昨年度、これらの行事の機会にCS委員会をアピールしようとして、CSののぼり旗を作成しました。

CS委員が参加する行事では、こののぼり旗をたてて、さらにCSの周知を図っていきます。



△リーフレット

文部科学省のCSは、校長の学校運営や教職員の任用について意見を述べる権限があり、経営方針や予算の承認を行っています。

シリーズ 新「府中市史」編さん④ 古文書の調査

昔のことを知るうえでかせないものに、古文書があります。古文書には手紙や日記、証文、絵図などがあり、これらは歴史の「史」という文字をあてて「史料」と呼ばれることもあります。古文書は、その土地で生活してきた人々や地域のルーツを表すものです。

古文書の多くは、江戸時代や明治時代から続く旧家や地域の集会所、寺社などに未整理のままで残されています。「墨で書かれた古そうな文書がうちにある」という情報を寄せていただくと、古文書の保管先に出向いて調査を開始します。

調査開始時には、まず古文書がどのように保管されているのか調べます。古文書は、木製の箱や段ボール箱にまとめて保管されていることが多いのですが、どの箱に何の古文書が入っているかというのも大切な情報です。なぜなら、昔の人が古文書を整理したとき、同じような内容のものを一つにまとめたり、重要だと思えるものを特別な箱に入れたり、整理をした人の考え方が古文書の入れ方に表れるからです。

調査の際には、元の状態を崩さないように注意して、スケッチや写真で記録をします。箱から古文書を取り出すときも、順番を崩さないように、1点ずつ取り出して番号を付けます。この作業は、ビデオカメラなどで記録をしながら行います。このような作業を「現状記録」と呼んでいます。

現状記録作業が終わった古文書は、1点ずつ内容を読み取って「目録」と呼ばれるリストに記録します。そのほか虫食いや破損の状態を目で確認しています。



府中の教育を語る会

東京都では11月の第一土曜日を「東京都教育の日」と定め、都民の教育の関心を高め、教育に関する取組みを都民全体で推進し、その充実と発展を図ることとしています。

府中市においても、「第2次府中市学校教育プラン」に基づき、東京都と同時期に、教育の日として市民の教育に対する関心を高め、子供たちの教育について保護者、地域、学校、教育委員会が共に考える機会とする「府中の教育を語る会」を実施します。

【日程】平成29年10月28日（土）

【時間】午後2時30分から4時30分まで

【会場】生涯学習センター講堂

【内容】「小中連携・一貫教育の推進
—これまでの取組から見えてきたこと—」

【対象者】市内小・中学校教員、保護者、児童・生徒、地域関係者等

【問合せ】指導室（335・4063）

府中市の特別支援教室の取組 ～モデル実施「つばさ教室」について～

特別支援教室とは

- 情緒障害等通級指導学級は特別支援教室に移行します。
- “子供が動く”から“教師が動く”へと変わります。

通級指導学級

通級指導学級設置校に児童が通級し、指導を受ける。



特別支援教室

全ての公立小学校に特別な指導を行う教室を設置し、教員が巡回して指導する。



特別支援教室導入により期待される効果

- ・これまで、通級指導学級で指導していた内容を全ての小学校（特別支援教室）で実施することで、より多くの児童が支援を受けられるようになり、在籍校での個別指導や小集団指導を通して、児童の学力や在籍学級における集団適応能力の伸長が図られる。
- ・在籍学級担任と巡回指導教員との連携が緊密になり、指導内容の充実が図られる。

モデル実施「つばさ教室」の取組

つばさ教室

☆同じエリア内では、どの学校も同じ教室名です☆



つばさ教室の学習例

体育

■ねらい：感覚の統合

自分が思っている身体の動きと実際の動きにズレがあることがあります。音に合わせて身体を動かしたり、両足を揃えて前に進む両足跳びをしたりします。

自立活動（集団ゲーム）

■ねらい：社会性の学習

小集団での学習です。ルールを守りながら楽しく人と過ごす経験を積み重ねたり、勝負へのこだわりやカッとした時の具体的な行動の仕方や相手への伝え方等を実践的に学習します。

学習は「つばさ教室」の中だけでなく、体育館など学習に必要な場所でも行っています。

◆モデル実施では、特別支援教室を効果的に活用するために、次のことがポイントになると分かってきました。

☆ポイント1…校内委員会

対象となる児童の具体的な対応について、検討・決定する学校内の組織
※特別支援教室のみではありません。

<委員の構成（例）>

校長、副校長、特別支援教育コーディネーター、担任、学年主任、スクールカウンセラー など

<検討事項1>

- ①児童生徒の現在の状況と実態を踏まえた学級・学校内での支援方法
- ②支援方法の見直し、改善

<検討事項2>

支援会議や本人・保護者のねがいを踏まえ、校外の支援先への申請の有無・支援依頼等

☆ポイント2…支援会議と「学校生活支援シート」「個別指導計画」の作成

支援会議

支援会議は、本人や保護者がねがいや要望、困っていること等を発信し、本人や保護者だけでなく、学校をはじめ支援者間で、各々ができることやできないことを共有しながら、具体的な支援内容と役割分担を話し合います。

【構成員（例）】

本人、保護者、校長、副校長、特別支援教育コーディネーター、担任、学年主任、スクールカウンセラー（ほか必要な方（SSW、教育委員会、療育機関担当者、子ども家庭支援センターなど）

学校生活支援シート

どちらも保護者と一緒に作成します

支援内容を踏まえて具体的な指導の計画へ

個別指導計画

- ① 本人・保護者のねがい
- ② 現在の状況
（本人の状態、困っていること、やりたくてもできないこと、支援の状況等）
- ③ 必要な支援の内容と役割の明確化
（ねがいの実現に向けた具体的な方法）
 - ・本人がやること
 - ・学校がやること
 - ・保護者がやること
 - ・その他の支援者がやってほしいこと
- ④ 支援内容・支援方法の見直し、改善

特別支援教室での指導はここに入ります

- ① 本人の実態
できること、学んできたこと、身に付いていること 等
- ② 具体的な目標
障害からくる困難さを踏まえ、本人が達成できる目標を立てる
- ③ 具体的な手だて
支援シートの内容を踏まえ、目標達成のための具体的な教材、補助具、工夫等の手だてを検討し、記載する

※学校生活支援シートは支援内容に変更や追加があれば、随時修正・加筆し、定期的に（概ね2～3年に一度）改訂します。作成した用紙はご家庭で保管し、入試や進学、新たな支援先への情報提供等に、本人・保護者が適宜活用します。学校では控えを保管します。

【問合せ】教育センター（364・4108）